

来場者 1

先日のロースクールキャラバンにおいて、実務家の方々の講演会、個別説明会、ロースクールの授業見学の3点について、大変有意義な情報を得ることができました。

まず、実務家の方々の講演会では、法曹という仕事についての魅力をさまざまな視点から述べていたことが大変印象的でした。特に検察、裁判官、弁護士の3つの職を経験なさった方の話では、どの仕事も魅力のあるものだということを知ることができ、これから自分が法曹を目指していく上で、さらなるモチベーションとなりました。

また、個別説明会では、私が知りたかった奨学金の具体的な制度、大学院生の生活や卒業後の進路状況について、どの大学院関係者の方も丁寧に教えてくれました。以前から大学院への進学は考えていましたが、今回の個別説明会を通じて、どの大学院を受験しようかについて具体的に考えることができました。

次にロースクールの授業見学では、次の点で学部の授業とは大きく異なり、大変魅力を感じました。ロースクールの授業では、先生が基本的な知識を一方的に伝えるものではなく、学生に対してたくさんの高度な質問がなされていて、双方向の授業が行われていたことに、大変驚きました。それに加えて、学生の方の受け答えも、しっかりしていて、学生のレベルが高かったことが伝わって来て、大変刺激を受けました。授業見学を通じて、大学院の受験校を決める上で、大変有益な情報を得ることができました。

最後に、今回、ロースクールキャラバンを開催して頂いた大学院関係者、生徒の皆様には心から感謝申し上げます。

来場者 2

今回のロースクールキャラバンに参加したきっかけは、ロースクールの授業見学ができる点、及び、法曹の方々のお話を聞ける点に興味を惹かれた事でした。

実際に講義を受けてみて感じたのは、内容の密度の濃さでした。主に大教室で行われる学部の講義と違い、少人数でソクラテスメソッドを用いて行われるロースクールの講義は、知識の定着や思考力の養成により一層役立つものであると感じました。さらに、質問のレベルの高さや解答の素早さ、的確さからは学生の皆様が日頃の学習や予習に力を入れていることが窺え、私も是非ここで学んでみたいと強く思いました。

法曹の方々の講演会、及び、法科大学院の教授や学生の方も交えた懇談会も、

将来を考える上で大変役立ちました。実際の職務内容や職場環境について直接聞くことができるのみならず、どのような信念をもって職務にあたっているのかお話いただいた事が、特に印象に残っています。中でも、法曹は「人の運命に大きな影響を与える仕事である」というお言葉には大変心を動かされました。その後の質疑応答の際にも、一つの質問に対してベテランの方から若手の方までそれぞれの立場から詳しく丁寧に回答していただき、法曹を目指す上での不安や疑問の解消に有益な情報を得る事ができました。

最後になりますが、このような機会を与えて下さった法科大学院協会及び関係者の方々に、心より感謝申し上げます。

来場者 3

先日のロースクールキャラバンにおいて、授業見学、そして法科大学院個別説明会について関心を持ったため、参加させていただきました。

まず、授業見学について。今まで大学の学部で受けてきた授業は、およそ、先生方が教えて下さる法律の基本的な知識を、受け身的に学ぶものでした。たしかに、学部での授業は分かりやすいものではありましたが、その進度・深度、共に少なからず物足りなさを感じておりました。反面、今回見学させていただいた授業は、学生が発言する機会が多い、双方向型の授業となっている点が大きく異なり、大変驚きました。加えて、学生の皆さんから、予習にかなり時間を割いているとのお話もあったように大変レベルが高く、先生への返答も素早かつ的確でした。法科大学院が、より深く・充実した教育を受けられる環境であることを体験できる、貴重な機会でした。

次に、個別説明会について。法科大学院への進学は考えているものの、それぞれ大学院ごとでの差として把握できていたのは、司法試験合格者の人数や合格率くらいのものであり、どの大学院を目指そうかと悩んでおりました。今回の個別説明会を通して、各大学院の力を入れていらっしゃる点や、実務家となった後の就職事情を中心に、さまざまな特色を教授や卒業生などの方から直接分かりやすく教えていただきました。これにより、各大学院の魅力を知ることができ、今後の志望校を決定するのに役立つ、大変有用な情報を得ることができました。

今回のロースクールキャラバンを通して、法科大学院入学後の具体像を知ることができ、また、その新たな魅力を発見することができました。このような場を設けて下さった法科大学院協会の皆様、そして、大学院関係者・学生の皆様方には心から感謝申し上げます。